

第2学年3組 国語科学習指導案

1 単元名・教材名 お話を 読んで、かんそうを 書こう スイミー

2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は、場面の様子について、想像を広げながら読むという学習を、一年上巻「ゆうやけ」、一年下巻「くじらぐも」、「たぬきの糸車」、二年上巻「ふきのとう」などで繰り返し行っている。この中で児童は、登場人物になりきって音読したり、せりふを考えたりすることができるようになってきた。しかし、文章を読んで登場人物や場面に気を付けて感想を書く、ということについては課題が残った。

本教材は、「スイミー」の行動を中心に描かれている物語である。悲しい出来事や困難な出来事があっても、「スイミー」が勇気をもって立ち向かう姿が描かれている。

本単元を指導するにあたって、小学校学習指導要領の第1学年及び第2学年の「C読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」を中心に指導を行っていく。そのために、「物語を読んだ感想を書く」という言語活動を設定する。その言語活動を遂行するために、共通教材「スイミー」の学習を通して、叙述を基に想像を広げて読み、登場人物の気持ちや好きな場面などを見つけられるように指導していく。それらを見つけることで、より物語の楽しさを味わうことができるからである。そして単元の終末では、物語を読んだ感想を書き、お互いの感想のいいところを伝え合うことができるようにする。

本時では、「一ぴきの大きな魚みたいになれたときのスイミーのおもいを考えよう。」という学習課題を立て、解決を図っていく。導入では、前時までの読みを基に、スイミーに起きた出来事を確認していく。そして新しい場面での出来事やスイミーの思いなどを、場面ごとに振り返ってから感想を書き、全体で発表できるようにする。こうすることで、児童が登場人物の行動や会話に着目しながら想像を広げて読めるようにする。

本教材の指導を通して、文章を読んで自分の思いや考えをもち、進んで読書を楽しみ感想が書ける児童を育てることができるように考えている。

3 単元の目標

(1) 文章中の大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書くことができる。

(読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

(2) 人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読み、感想を書くことができる。

(読むこと)

(3) 様子を表す言葉を使って文を書くことができる。

(書くこと)

4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	・主人公の行動や会話に注意しながら物語を読み、感想を書こうとしている。	・様子を表す言葉を使って、文を書いている。	・登場人物の行動や会話から、場面の様子について理解している。 ・大事な言葉や文を書き抜いて、感想を書いている。 ・自分の気持ちに合う言葉で感想をもち、どうして、その感想を持ったかを理解している。	・様子や気持ちを表す言葉を使っている。
学習活動に即した評価規準	①登場人物の言動や場面に注意しながら物語を読み、感想を書こうとしている。 ②進んで感想を発表しようとしている。 ③場面の様子や行動から、スイミーの気持ちを想像し、言ってあげたいことを考えようとしている。 ④表現に気を付けて読もうとしている。 ⑤物語を読んで、互いの感想を分かち合おうとしている。	①読んだ感想を自分の言葉で書いている。 ②教科書で使われている言葉を使って感想を書いている。 ③既に読んだ内容と関連させて感想を書いている。	①登場人物の行動や会話から、好きな場面や心に残った場面の様子を読み取っている。 ②登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んでいる。 ③比喩に注意しながら文章を読んでいる。 ④文章の中の大事な言葉や文を見つけ、感想の中で用いている。 ⑤物語の内容と自分が既に持っている知識や経験などを結びつけて感想を書いている。	①感想を書くときにふさわしい言葉を使っている。 ②感想を表す言葉を教科書から探したり自分で考えたりして、感想を書く際に用いている。

5 指導と評価の計画（全時間扱い） 本時7／10時

時	主 な 学 習 活 動	学 習 内 容	評価規準・評価方法
1	○「スイミー」の全文を読み、感想を交流する。	○登場人物の言動、好きな場面	アの① エの① ・発表の内容や態度の考察 ・ノートによる考察
2	○スイミーがどんな魚なのかを考える。	○場面一の内容	アの② エの② ・机間指導による考察 ・ノートによる考察
3	○スイミーの気持ちを考える。	○場面二の内容	ウの① オの① ・発言の内容や態度の考察 ・ノートによる考察
4	○自分の好きな海のすばらしいものを見つける。	○場面三の内容	ウの② エの② ・机間指導による考察 ・ノートによる考察
5	○台詞に注目して、様子をとらえる。	○場面四の内容	アの③ エの② ・机間指導による考察 ・ノートによる考察
6	○文章中の比喩表現を見つける。	○比喩の表現	アの④ エの③ ・発表の内容や態度の考察 ・ノートによる考察
⑦	○これまでに学習した内容と関連させて感想を書く。	○場面五の内容	ウの③ エの② ・発表の内容や態度の考察 ・ノートによる考察
8 ・ 9	○物語の感想を書く。	○物語の感想	エの④ オの② ・机間指導による考察 ・ノートによる考察
10	○書いた感想を読み合い、よいところを見つけて伝え合う。	○交流の仕方	アの⑤ エの⑤ ・発表の内容や態度の考察

6 本時の学習指導（本時7／10時）

（1）目 標

○これまでに学習した内容と関連させて感想を書くことができる。

（2）評価規準（1時間の授業に即した具体的なもの）

ウ 書く能力	エ 読む能力
③既に読んだ内容と関連させて感想を書いている。	②登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んでいる。

(3) 展 開 (○は指導上の留意点 ----- 内は評価を表す)

前時の学習内容	○比喩の表現
---------	--------

学 習 活 動	学 習 内 容	指導と評価の創意工夫	時間
1 本時の学習課題をつかむ。 一ぴきの大きな魚みたいになれたときのスイミーのおもいをかんがえよう。	・ 本時の学習課題	○前時までの内容を振り返り、本時の学習に意欲的に取り組めるようにすると共に、問題意識を高める。	5 分
2 場面五を音読する。	・ 内容の把握	○スイミーたちがしたこと・言ったことに気を付けながら全員で音読をすることで場面を掴みやすくする。	3 分
3 場面を整理する。 〈スイミーの作戦〉 ・ 海で一番大きな魚のふりをして泳ぐこと。 ・ 決して離れ離れにならないこと。 ・ みんな持ち場を守ること。 ・ スイミーが目になること	・ 場面の整理	○スイミーが考えた作戦がどのようなものであるかを確認する。 ○どうしてスイミーはそのような作戦を思い付いたのかを問うことで、前時とのつながりを意識出来るようにする。 ○スイミーの作戦を体感するために、赤白帽子をみんなで被って一人だけ脱ぐという活動も取り入れる。	10 分
4 スイミーの思いを考える。 〈出させたい内容〉 ・ みんなと一緒に泳げて嬉しいな。 ・ これでまぐろに勝てるぞ。 ・ やっと一人ぼっちじゃなくなった。	・ 考えのまとめ方	○ただ単に「嬉しい」などの気持ちを表す言葉だけでなく、何故嬉しいのかも書けるように指導する。 ウの③既に読んだ内容と関連させて感想を書いている。 エの②登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んでいる。 (発表の内容や態度による考察) (ノートによる考察) 今までの場面と関連させながらスイミーの思いを想像して感想を書けていれば、「おおむね満足できる状況である」と判断することができる。	15 分

	《手立て》 ・今までの場面と関連させながらスイミーの思いを想像して感想が書けている児童には、さらに、何故そう思ったかなどの理由や、自分にたとえて書けるように助言する。 ・今までの場面と関連させていない、もしくはスイミーの思いを想像して感想が書けていない児童には、板書や物語の内容を振り返るように助言し、児童と共に感想を考えるようにする。	
5 感想を発表する。	・ 感想の発表	○キーワードでまとめる。
6 本時のまとめを行う。	・ 本時のまとめ	○最後の結末はどうなったかを確認する。 ○本時の振り返りを行い、次時の予告をする。
		10 2

次時の学習内容	○物語の感想
---------	--------

7 備 考 在籍児童数 35名

板書計画

六月一日 「スイミー」 一ぴきの大きな魚みたいになれたときのスイミーのおもいをかんがえよう。 〈スイミーの作戦って？〉 ・ 海でいちばん大きな魚のふりをしていっしょにおよぐこと。 ・ けっして、はなればなれにならないこと。 ・ みんな、もちばをまもること。 ・ スイミーが目になること。 〈スイミーのおもい〉 ・ みんなと一緒に泳げて嬉しいな。 ・ これでまぐろに勝てるぞ。 ・ やつと一人ぼっちじゃなくなった。 (キーワードでも良し)
